

令和8年度牛久市予算（案）の概要

牛 久 市

「7つの重点プロジェクト」の主な施策

(予算の特徴)

新たな牛久市のブランドメッセージ「親子特区!!うしく」の推進をはじめ、牛久市第4次総合計画第2期基本計画に掲げる、重点的かつ戦略的に取り組む「7つの重点プロジェクト」に係る事業を重点事業として計上しています。

①牛久ブランディングプロジェクト

- ・【新規】市民とともにつくる市制施行40周年記念事業 15,428千円
- ・【継続】TVアニメとのコラボ企画を市内事業者とともに展開 7,224千円

②子育て全力応援プロジェクト

- ・【新規】親子をまちぐるみで応援する「親子特区!!うしく」の推進 7,570千円
- ・【新規】小中学校体育館への空調整備基本実施設計 100,584千円
- ・【新規】休日における学校部活動の地域展開 20,213千円

③ワインと食のまちづくりプロジェクト

- ・【新規】文化観光公園として価値を創出する牛久シャトー整備基本構想策定 7,700千円
- ・【拡充】牛久シャトーの賑わい創出のためのイベント開催 16,700千円
- ・【拡充】地域ブランド力向上のためのうしくグルメの開発及び発信 4,444千円

④市民の足づくりプロジェクト

- ・【新規】バス路線再編に伴う利用者負担軽減のための支援措置 4,885千円
- ・【継続】市民の日常の足の確保のための公共交通運行 170,003千円

⑤スマート窓口プロジェクト

- ・【新規】市役所窓口への「書かない窓口支援システム」導入 83,292千円
- ・【新規】子ども関連事務のIT化（公立保育園登園、母子健康手帳） 8,564千円

⑥国際交流活発化プロジェクト

- ・【継続】姉妹都市及び台湾・ジョージアとの交流の推進 4,934千円

⑦牛久に住もう働こうプロジェクト

- ・【継続】東端六士地区画整理事業に続く新たな宅地開発調査検討 27,896千円
- ・【新規】空家利活用による転入促進のための補助金創設等 1,150千円

【将来への投資等】

これらのほか、総合計画における7つの政策分野に掲げる事業や小中学校の給食費無償化、未就学児の医療費無償化について、着実に取り組むとともに、総合福祉センター、下根保育園などの公共施設長寿命化の実施や、道路や公園の照明灯などのLED化によるゼロカーボンの取り組みを推進するなど、将来への投資を積極的に進める予算編成としました。

令和8年度予算編成の考え方・当初予算の規模

（予算編成の考え方）

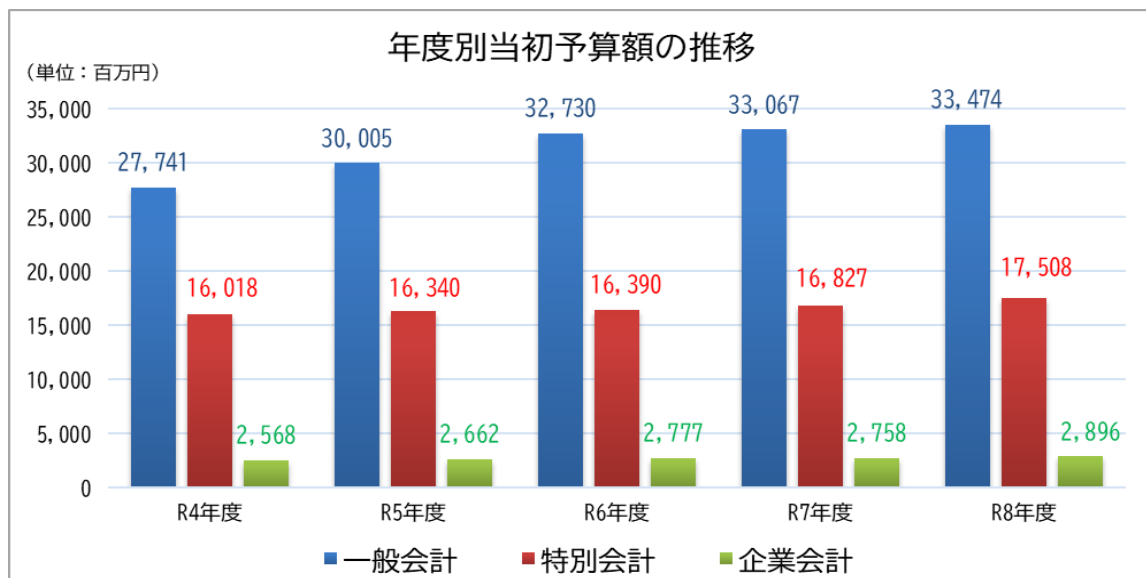
令和8年度予算編成にあたっては、「牛久市のブランド力の向上」「新たな活力の創出」「人への投資」「DXの推進」「事業のアップデート」「コストの削減・平準化」「財源の確保」の7つを基本方針として定め、全ての事業において、前例踏襲を廃して、既存事業の見直しをはじめ、事業のアップデートを図り、市民サービスの低下につながらないことを前提に、無駄を徹底して排除いたしました。また、歳入においては、市税の増収や、国の地方財政計画に基づき、各種交付金の増額等を見込むとともに、新たな財源確保策としてのネーミングライツに取り組みました。さらに、財政調整基金及び公共施設等総合管理基金等からの繰り入れ等により、市債残高を増加させることなく財源を確保しました。

（当初予算の規模）

一般会計は、前年度比1.2%、4億8百万円増の334億74百万円となり、過去最大の予算額となりました。

特別会計は、国民健康保険事業特別会計や、介護保険事業、後期高齢者医療事業特別会計等において、引き続き増額となり、総額で前年度比4.0%、6億81百万円増の175億8百万円となりました。

企業会計（下水道事業）は、前年度比5.0%、1億38百万円増の28億96百万円となりました。



各 会 計 予 算 (単位：千円、%)

会 計 名	令和8年度		令和7年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	33,474,249	62.1	33,066,653	62.8	407,596	1.2
国民健康保険事業	7,091,175	13.2	7,059,315	13.4	31,860	0.5
青果市場事業	22,305	0.0	21,365	0.1	940	4.4
介護保険事業	7,219,373	13.4	6,968,353	13.2	251,020	3.6
後期高齢者医療事業	3,175,369	5.9	2,777,875	5.3	397,494	14.3
特別会計合計	17,508,222	32.5	16,826,908	32.0	681,314	4.0
下水道事業	2,896,202	5.4	2,757,856	5.2	138,346	5.0
企業会計合計	2,896,202	5.4	2,757,856	5.2	138,346	5.0
合 計	53,878,673	100.0	52,651,417	100.0	1,227,256	2.3

財政調整基金繰入額の推移及び基金の状況

令和8年度当初予算においては、投資的経費が増加する中、財源確保のため財政調整基金7億5500万円を一般会計に繰り入れています。この額は、令和7年度とほぼ同額であり、直近4か年と比較し、少ない繰入額に抑えています。

繰入後の一般財源基金（財政調整基金、減債基金）残高は、49億1200万円であり、今後、突発的な事案や緊急の課題に対応できるよう、着実な基金の積立を実施してまいります。

当初予算時点の財政調整基金繰入額の推移

(単位：千円)

R4	R5	R6	R7	R8
794,029	779,950	784,077	755,808	755,000

基金の状況

(単位：千円)

基金名	R7年度末 残高見込	R8年度中増減見込		R8年度末 残高見込
			当初予算	
財政調整基金	4,300,571	歳出(積立)	6,800	3,552,371
		歳入(繰入)	755,000	
減債基金	1,352,646	歳出(積立)	6,500	1,359,146
		歳入(繰入)	0	
地域福祉基金	316,086	歳出(積立)	1,300	280,779
		歳入(繰入)	36,607	
スポーツ振興基金	1,583	歳出(積立)	10	1,593
		歳入(繰入)	0	
借地取得基金	807,736	歳出(積立)	2,400	810,136
		歳入(繰入)	0	
奨学基金	39,073	歳出(積立)	80	33,633
		歳入(繰入)	5,520	
文化芸術振興基金	3,080	歳出(積立)	14	3,094
		歳入(繰入)	0	
ふるさと基金	46,723	歳出(積立)	800,106	1,015
		歳入(繰入)	845,814	
企業誘致事業等推進基金	50,006	歳出(積立)	40	46
		歳入(繰入)	50,000	
森林環境譲与税基金	10,985	歳出(積立)	13,456	10,985
		歳入(繰入)	13,456	
公共施設等総合管理基金	2,204,199	歳出(積立)	7,200	2,120,373
		歳入(繰入)	91,026	
合計	9,132,688	歳出(積立)	837,906	8,173,171
		歳入(繰入)	1,797,423	
国民健康保険支払準備基金	286,773	歳出(積立)	57,397	344,170
		歳入(繰入)	0	
青果市場財政調整基金	2,249	歳出(積立)	0	2,138
		歳入(繰入)	111	
介護給付費準備基金	1,769,432	歳出(積立)	7,400	965,549
		歳入(繰入)	811,283	
合計	2,058,454	歳出(積立)	64,797	1,311,857
		歳入(繰入)	811,394	
公共下水道施設建設基金	95,547	歳出(積立)	320	95,867
		歳入(繰入)	0	
高額療養費貸付基金	10,000	歳出(積立)	0	10,000
		歳入(繰入)	0	

※前年度末残高及び利子積立は、表示単位未満を端数調整しています。

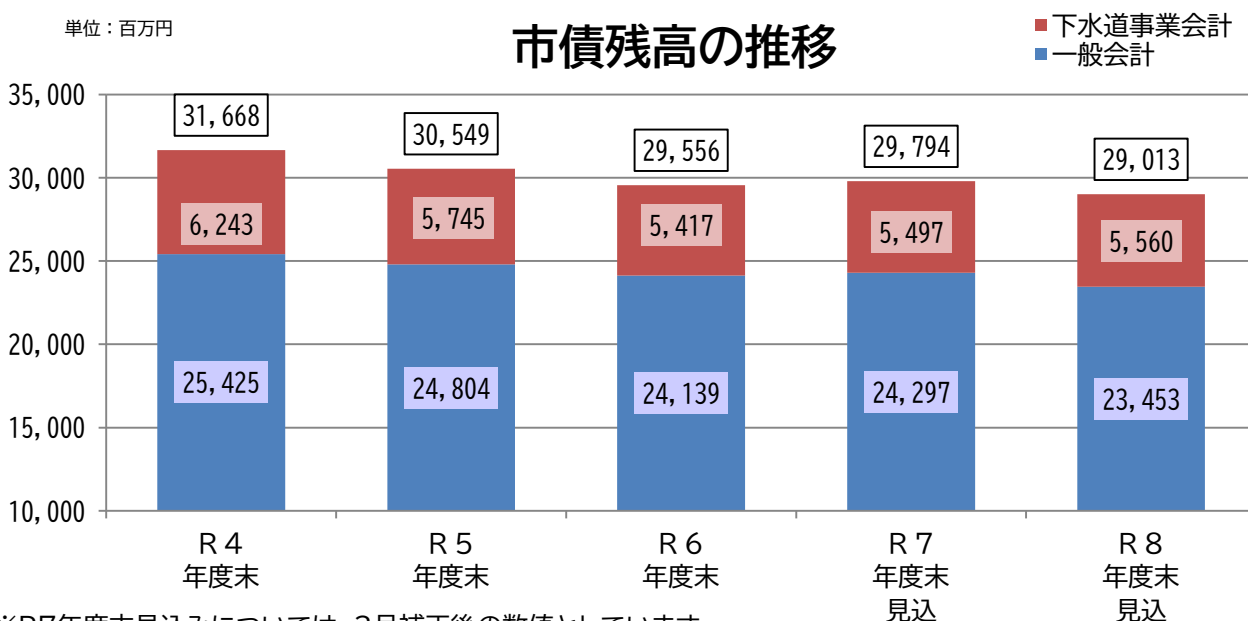
※【R8年度末残高見込】＝【R7年度末残高見込】＋【R8歳出(積立)】－【R8歳入(繰入)】

市債残高と元利償還金の推移

市債残高については、企業会計をあわせた市全体で管理とするとともに、投資的事業に充てる建設事業債と普通交付税の代替財源である臨時財政対策債のどちらも市債（借金）として捉え、残高管理を行っています。

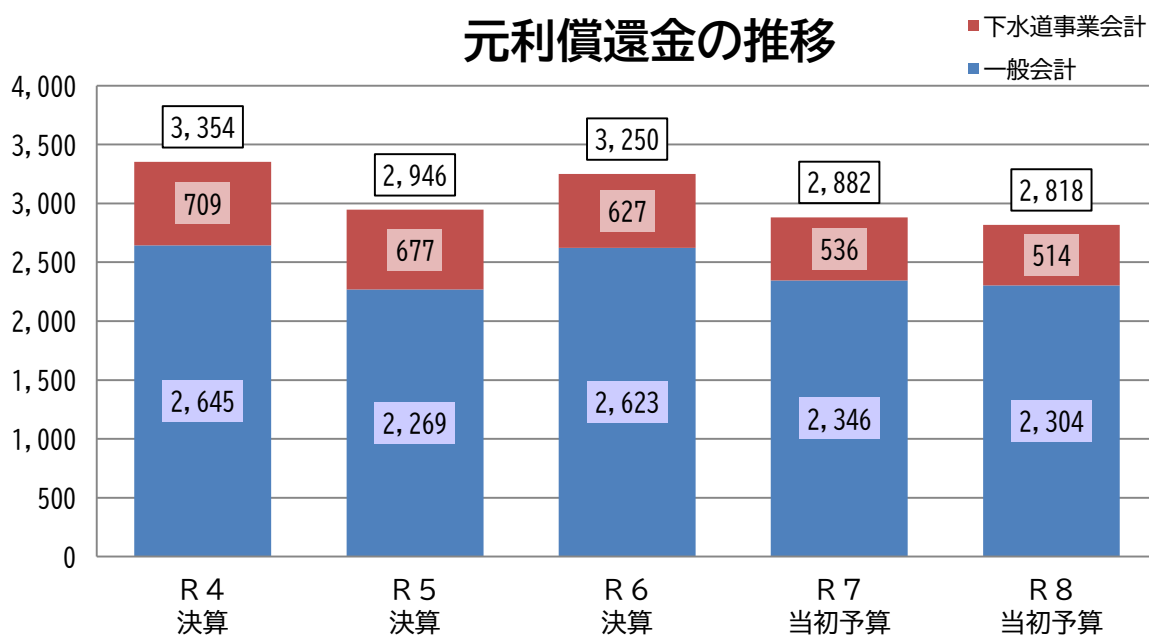
借入にあたっては、残高だけではなく、各年度の償還額の状態や、基金残高とのバランスを考慮した上で、必要に応じて市債の借り入れを行っており、その発行にあたっては、普通交付税算出において基準財政需要額に算入される地方債を優先的に計上することで、将来的な財源の確保を図っています。

令和8年度は、25億87百万円の元金償還額に対し、市債18億6百万円の借入額とし、市債残高は290億13百万円（前年度比7億81百万円の減）と見込んでいます。

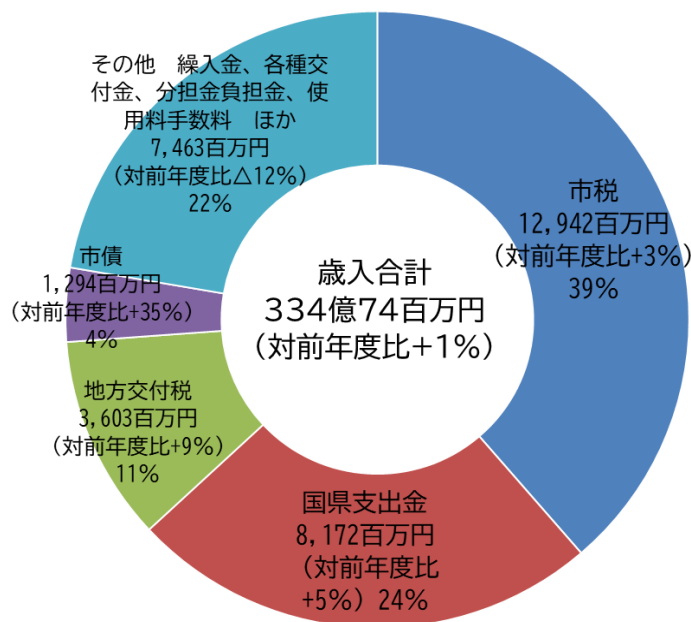


※R7年度末見込みについては、3月補正後の数値としています。

※見込みについては、R6年度の繰越分及び、R7年度予算額全額を現年での借入として算出しています。



一般会計歳入予算の状況



歳入予算の内訳をみると、市税は、個人市民税や固定資産税の増により、対前年度比3%、4億15百万円の増となりました。

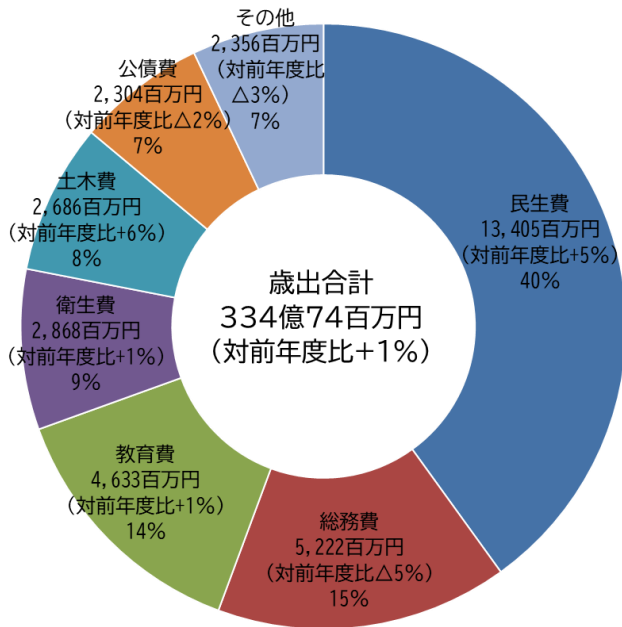
また、国庫支出金は、公立小学校給食費の無償化や障害者・障害児給付等の扶助費の増に伴い、対前年度比5%、3億58百万円の増となり、市債は、総合福祉センター改修事業債や道路照明灯・公園灯整備事業債の増に伴い、対前年度比35%、3億37百万円の増となりました。

寄附金は、ふるさと寄附について、国の地場産品基準改正による返礼品数の減少に伴い、寄附金及びふるさと基金繰入金が、それぞれ2億円の減となり、諸収入は、公立小学校給食費の無償化に伴い、減となりました。

(単位：千円、%)

款	令和8年度		令和7年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減	伸率
1 市 税	12,941,970	38.7	12,526,669	37.9	415,301	3.3
2 地 方 譲 与 税	263,651	0.8	274,744	0.8	△ 11,093	△ 4.0
3 利 子 割 交 付 金	27,584	0.1	12,329	0.0	15,255	123.7
4 配 当 割 交 付 金	124,646	0.4	88,127	0.3	36,519	41.4
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	155,136	0.4	141,869	0.4	13,267	9.4
6 法 人 事 業 税 交 付 金	167,650	0.5	181,587	0.6	△ 13,937	△ 7.7
7 地 方 消 費 税 交 付 金	2,249,338	6.7	2,061,290	6.2	188,048	9.1
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	25,156	0.1	22,332	0.1	2,824	12.6
9 環 境 性 能 割 交 付 金	34,453	0.1	37,063	0.1	△ 2,610	△ 7.0
10 地 方 特 例 交 付 金	67,185	0.2	79,902	0.2	△ 12,717	△ 15.9
11 地 方 交 付 税	3,603,368	10.8	3,320,819	10.0	282,549	8.5
普 通 交 付 税	3,300,810	9.9	3,038,261	9.2	262,549	8.6
特 別 交 付 税	302,558	0.9	282,558	0.8	20,000	7.1
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	10,000	0.0	11,000	0.0	△ 1,000	△ 9.1
13 分 担 金 及 び 負 担 金	213,602	0.6	245,564	0.7	△ 31,962	△ 13.0
14 使 用 料 及 び 手 数 料	326,960	1.0	309,001	0.9	17,959	5.8
15 国 庫 支 出 金	5,592,746	16.7	5,475,501	16.6	117,245	2.1
16 県 支 出 金	2,579,631	7.7	2,339,015	7.1	240,616	10.3
17 財 産 収 入	147,969	0.4	123,510	0.4	24,459	19.8
18 寄 附 金	800,000	2.4	1,000,000	3.0	△ 200,000	△ 20.0
19 繰 入 金	1,797,425	5.4	2,431,216	7.4	△ 633,791	△ 26.1
他 会 計 繰 入 金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
財 政 調 整 基 金 繰 入 金	755,000	2.3	755,808	2.3	△ 808	△ 0.1
減 債 基 金 繰 入 金	0	0.0	112,831	0.4	△ 112,831	△ 100.0
そ の 他 特 目 基 金 繰 入 金	1,042,423	3.1	1,562,575	4.7	△ 520,152	△ 33.3
20 繰 越 金	350,000	1.0	350,000	1.1	0	0.0
21 諸 収 入	701,679	2.1	1,077,615	3.3	△ 375,936	△ 34.9
22 市 債	1,294,100	3.9	957,500	2.9	336,600	35.2
臨 時 財 政 対 策 債	0	0.0	0	0.0	0	-
そ の 他	1,294,100	3.9	957,500	2.9	336,600	35.2
歳 入 合 計	33,474,249	100.0	33,066,653	100.0	407,596	1.2

一般会計歳出予算（目的別内訳）の状況



目的別歳出予算の内訳を見ると、歳出経費の3分の1を占める民生費は、障害者・障害児給付費、総合福祉センター長寿寿命化工事等の増により、対前年度比5%、5億93百万円の増となりました。

総務費は、ふるさと寄附の減を見込んだことによる、返礼経費及びふるさと基金積立金等の減により、対前年度比5%、2億8千万円の減となりました。

教育費は、小中学校体育館への空調設置の設計費等の増により、対前年度比1%、30百万円の増となりました。

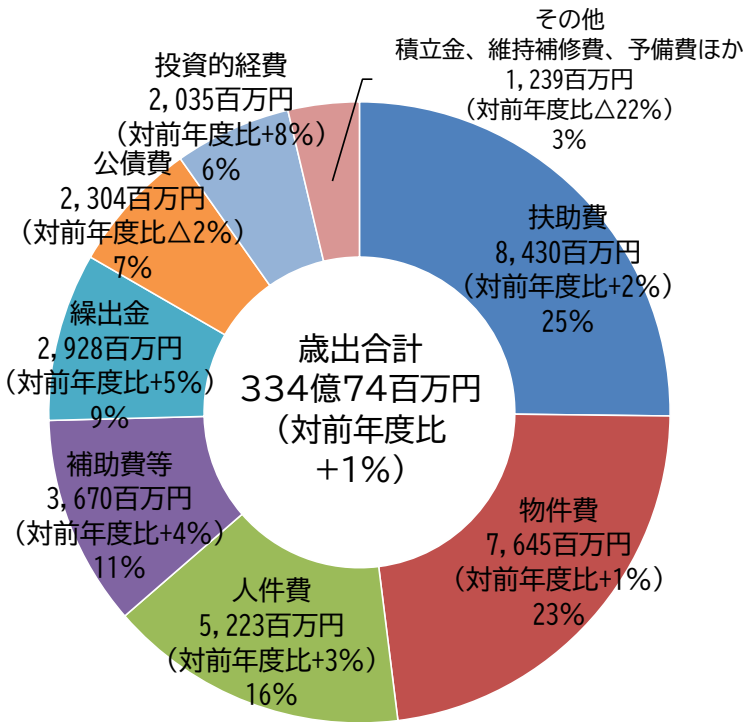
衛生費は、清掃工場維持補修工事費等の増により、対前年度比1%、39百万円の増となりました。

土木費は、道路照明灯・公園照明灯のLED化更新等の増により、対前年度比6%、1億44百万円の増となりました。

(単位：千円，%)

款	令和8年度		令和7年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減	伸率
1 議 会 費	238,914	0.7	235,225	0.7	3,689	1.6
2 総 務 費	5,221,946	15.6	5,502,267	16.6	△ 280,321	△ 5.1
3 民 生 費	13,404,810	40.1	12,812,283	38.7	592,527	4.6
4 衛 生 費	2,868,340	8.6	2,829,123	8.6	39,217	1.4
5 労 働 費	771	0.0	843	0.0	△ 72	△ 8.5
6 農 林 水 産 業 費	249,391	0.7	235,627	0.7	13,764	5.8
7 商 工 費	584,334	1.8	521,537	1.6	62,797	12.0
8 土 木 費	2,686,546	8.0	2,542,160	7.7	144,386	5.7
9 消 防 費	1,232,900	3.7	1,385,252	4.2	△ 152,352	△ 11.0
10 教 育 費	4,632,767	13.8	4,602,441	13.9	30,326	0.7
11 災 害 復 旧 費	1	0.0	1	0.0	0	0.0
12 公 債 費	2,303,929	6.9	2,345,794	7.1	△ 41,865	△ 1.8
13 諸 支 出 金	9,600	0.0	4,100	0.0	5,500	134.1
14 予 備 費	40,000	0.1	50,000	0.2	△ 10,000	△ 20.0
歳 出 合 計	33,474,249	100.0	33,066,653	100.0	407,596	1.2

一般会計歳出予算（性質別内訳）の状況



一般会計の歳出をその経済的性質により分類したものが左の性質別予算です。

扶助費は、障害者・障害児給付費、生活保護費等の増により、対前年度比2%、1億33百万円の増となりました。

物件費は、ふるさと寄附返礼経費等の減があったものの、書かない窓口支援システム導入や物価高騰の影響等により、前年度比1%、96百万円の増となりました。

人件費は、人事院勧告に準じた職員給及び手当などの増により、対前年度比3%、1億33百万円の増となりました。

補助費等は、特定中心市街地事業所開設等補助金や下水道事業会計負担金等により、対前年度比4%、1億49百万円の増となりました。

投資的経費は、総合福祉センター長寿命化改修工事や、小中学校体育館空調整備基本実施設計、道路照明灯・公園灯のLED化等により対前年度比8%、1億44百万円の増となりました。

(単位：千円, %)

区 分	令和8年度		令和7年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸率
人 件 費	5,222,771	15.6	5,089,837	15.4	132,934	2.6
扶 助 費	8,429,924	25.2	8,297,079	25.1	132,845	1.6
公 債 費	2,303,929	6.9	2,345,794	7.1	△ 41,865	△ 1.8
義 務 的 経 費 の 計	15,956,624	47.7	15,732,710	47.6	223,914	1.4
物 件 費	7,645,268	22.8	7,548,973	22.8	96,295	1.3
維 持 補 修 費	304,195	0.9	453,314	1.4	△ 149,119	△ 32.9
補 助 費 等	3,669,451	11.0	3,520,440	10.6	149,011	4.2
(一部事務組合)	1,216,343	3.6	1,211,464	3.7	4,879	0.4
(その他)	2,453,108	7.4	2,308,976	6.9	144,132	6.2
積 立 金	837,906	2.5	1,022,556	3.1	△ 184,650	△ 18.1
投 資 及 び 出 資 金	17,734	0.1	29,872	0.1	△ 12,138	△ 40.6
貸 付 金	39,000	0.1	24,000	0.1	15,000	62.5
緑 出 金	2,928,708	8.7	2,792,981	8.4	135,727	4.9
投 資 的 経 費	2,035,363	6.1	1,891,807	5.7	143,556	7.6
(補助事業)	534,889	1.6	568,272	1.7	△ 33,383	△ 5.9
(単独事業)	1,500,474	4.5	1,323,535	4.0	176,939	13.4
(その他)	0	0.0	0	0.0	0	-
予 備 費	40,000	0.1	50,000	0.2	△ 10,000	△ 20.0
歳 出 合 計	33,474,249	100.0	33,066,653	100.0	407,596	1.2

市 税 の 状 況

○市税の主な増減

【市民税】

個人市民税については、給与所得の増などによる増収を見込み、前年度比6.6%、3億59百万円の増となり、また、法人市民税についても、前年度比2.5%、11百万円の増となりました。全体では、前年度比6.1%、3億64百万円の増となりました。

【固定資産税】

固定資産税については、新築住宅軽減措置の終了や新築家屋の増などにより増収を見込み、前年度比0.6%、33百万円の増となりました。

(単位：千円,%)

区 分	令和8年度	令和7年度	比 較		備 考 ※内訳の金額については現年課税分
	当初予算額	当初予算額	増減額	伸 率	
市 民 税	6,311,502	5,947,289	364,213	6.1	個人 (8年度) 5,791,486 (7年度) 5,432,442 法人 (8年度) 473,993 (7年度) 462,615
固 定 資 産 税	5,067,273	5,034,732	32,541	0.6	土地 (8年度) 1,545,988 (7年度) 1,547,995 家屋 (8年度) 2,503,247 (7年度) 2,449,502 償却資産 (8年度) 978,506 (7年度) 996,380
軽 自 動 車 税	235,715	228,722	6,993	3.1	維持費の安価な軽自動車の購入者の増
市 た ば こ 税	511,279	508,525	2,754	0.5	たばこ売り上げ本数は減少傾向ではあるが、税制改正によるたばこ税増税による増収
特別土地保有税	1	1	0	0.0	
都 市 計 画 税	816,200	807,400	8,800	1.1	土地 (8年度) 353,188 (7年度) 353,594 家屋 (8年度) 456,911 (7年度) 447,433
合 計	12,941,970	12,526,669	415,301	3.3	

扶 助 費 の 状 況

扶助費は、被扶助者に対しその生活を維持するために支出される経費で、義務的経費の1つにあたります。扶助費は、障害者介護給付費、障害児給付費や生活保護費の増により、前年度比1.6%、1億33百万円の増となりました。

【社会福祉費】 障害者のサービスの利用増により、社会福祉費扶助費が前年度比1億52百万円の増額。

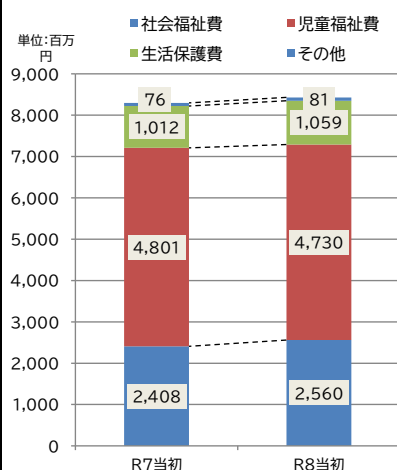
【児童福祉費】 障害児給付費の増はあるものの、児童手当・児童扶養手当の減により、児童福祉費扶助費が前年度比7千万円の減額。

【生活保護費】 医療扶助費の増により、生活保護費扶助費が前年度比47百万円の増額。

(単位：千円,%)

区 分	令和8年度	令和7年度	比 較	
	当初予算額	当初予算額	増減額	伸 率
扶 助 費	8,429,924	8,297,079	132,845	1.6
うち社会福祉費	2,559,501	2,407,988	151,513	6.3
うち児童福祉費	4,730,498	4,800,761	△ 70,263	△ 1.5
うち生活保護費	1,058,686	1,012,160	46,526	4.6
そ の 他	81,239	76,170	5,069	6.7

扶助費の目的別予算額



第2期基本計画重点プロジェクト

7つの重点プロジェクト

※赤字表記部分は、「新規」「一部新規」「拡充」に区分した事業のうち、新たな取り組みや拡充部分です。

Project 1 牛久ブランドイングプロジェクト

市制施行40周年記念事業 (15,428千円) (経営企画部等)

新規

牛久市の市制施行40周年を記念し、各種事業を実施します。

牛久市は、令和8年6月1日に市制施行40周年を迎えます。令和7年12月28日には、ひたち野うしく駅で、市制施行40周年記念イベントとして、万博中央駅の駅名看板をひたち野うしく駅に「里帰り」させる式典を開催しました。

令和8年度は、市制施行40周年のキャッチフレーズ「40年のありがとうを未来へ」のもと、基本方針でもある「愛着」「知る」「育てる」の観点を盛り込んだ記念式典、各種記念事業、PR事業を市民とともに実施します。

また、かっぱ祭りやWaiワイまつりといった各種イベントについて、令和8年度は市制施行40周年を冠して実施します。



市制施行40周年記念ロゴ

〈事業内訳〉

40周年記念式典業務委託【新規】	7,990千円
スポーツ協会・少年団冠大会開催交付金【新規】	2,700千円
連節バス運行業務委託【新規】	1,366千円
第九コンサート開催補助金【新規】	1,000千円
牛久沼活用事業開催委託【新規】	901千円
フォトコンテスト開催費用【新規】	438千円
としょかんまつり講演会講師料【新規】	409千円
40周年記念給食実施費用【新規】	377千円
なんでも鑑定団開催費用【新規】	147千円
キューちゃん新デザイン公募費用【新規】	100千円
(財源)	
一般財源	15,428千円



写真：ひたち野うしく駅式典の様子

TVアニメ作品とのコラボレーション企画を実施します。

TVアニメ「ラブライブ！スーパースター!!」に牛久市が登場したことをきっかけに、様々なコラボレーション企画を展開してまいりました。特に効果の大きかった牛久市オリジナルイラストの作成や市内事業者と連携したイベントの実施など、作品とのコラボレーションを更に深めることで、本市への交流人口の増加や経済効果の促進等を図ります。



TVアニメ作品と牛久市のコラボレーション描き下ろしイラスト

〈事業内訳〉	
アニメコラボレーション・プロモーション費用等	7, 224千円
(財源)	
特別住民票売捌料	1, 637千円
一般財源	5, 587千円

Project 2 子育て全力応援プロジェクト

「親子特区!!うしく」をメッセージとして、子育て世帯を中心とした移住・定住を促す新たなブランディングを推進します。

令和7年10月より、新たなブランドメッセージ「親子特区!!うしく」を掲げ、親子の思い出や心の豊かさを育むまちづくりを本格的にスタートしました。「親子がともに育ち合えるまち」というブランド理念のもとに、「親子」のつながりを中心に据えた施策を実施し、「親子である価値」を市民とともに発信します。

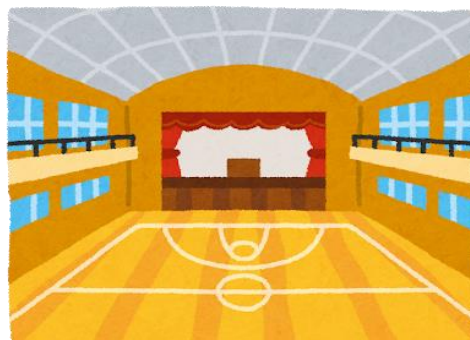


親子特区!!うしくのシンボルデザイン「怪獣の親子」

〈事業内訳〉	
親子のはじまりお祝いボトルプロジェクト実施費用【新規】	1, 810千円
親子ひろばプロジェクト開催費用【新規】	3, 760千円
チラシ印刷費等事務費【新規】	2, 000千円
(財源)	
一般財源	7, 570千円

小学校・中学校の体育館に空調設備の整備を進めます。

児童生徒の学習の場であるとともに、災害時には地域住民の避難所として使用する小中学校の体育館について、近年の酷暑への対応や熱中症対策を講じることを目的に、空調設備の整備を進めます。令和8年度は、令和9年度以降の工事実施を見据え、地理的条件や環境が異なる学校ごとに適した空調方式の検討や設置計画等を定める基本実施設計業務を実施します。



〈事業内訳〉	
小学校屋内体育施設空調設備基本実施設計【新規】	47, 839千円
中学校屋内体育施設空調設備基本実施設計【新規】	52, 745千円
(財源)	
小学校施設整備事業債	21, 900千円
中学校施設整備事業債	24, 300千円
一般財源	54, 384千円

学校部活動の地域展開を進めます。

地域全体で関係者が連携し、生徒が将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保・充実させます。令和8年度は、休日の部活動を地域へ展開し、指導者登録バンクなどを活用して指導者を確保しながら、持続可能な体制を整え、教職員の負担軽減を図りつつ、生徒に豊かで幅広い活動機会を提供します。

〈事業内訳〉	
指導者等謝金【新規】	12,863千円
教材教具費【新規】	2,944千円
各種補助金(指導者資格補助金、団体活動補助金、地域クラブ参加費補助金)【新規】	2,625千円
地域クラブ保険料負担金等【新規】	1,781千円
〈財源〉	
地域クラブ活動参加費	7,614千円
地域クラブ保険料負担金	548千円
一般財源	12,051千円



Project 3 ワインと食のまちづくりプロジェクト

牛久シャトーを文化観光公園として、魅力ある施設として整備するため、牛久シャトー整備基本構想を策定します。

牛久シャトーは、日本のワイン醸造の先駆者・神谷傳兵衛によって明治36年に創設された我が国最古の本格的ワイン醸造場として、極めて高い歴史的・文化的価値を有しており、近代産業遺産としての保存と活用を図りながら、地域の誇りとして次世代に継承していくことが求められています。

こうした背景のもと、令和9年度から文化観光公園として公設化するにあたり、令和8年度は、牛久シャトーの持つ歴史的建造物群や文化資源を公的に保存・活用し、市民とともに新たな価値を創出するため、牛久シャトー整備基本構想を策定し、今後の整備方針についてとりまとめます。

〈事業内訳〉	
牛久シャトー整備基本構想策定【新規】	7,700千円
〈財源〉	
一般財源	7,700千円



写真：牛久シャトー

牛久シャトー利活用促進 (16,700千円) (環境経済部)

拡充

牛久シャトーにて**各種イベントを開催**し、牛久シャトーにおける賑わい創出を図ります。

国指定重要文化財であり、日本遺産に認定された牛久シャトーの文化財保護を図りながら、観光資源として有効活用します。

また、観光資源として有効活用を図るため、令和8年度は、新たなイベントの開催や日本遺産フェスタなど、**各種イベントを開催**し、国重要文化財シャトーカミヤ旧醸造場施設を含む牛久シャトーを核とした日本遺産事業を推進し、牛久シャトーにおける賑わい創出を図ります。



写真：令和7年2月開催日本遺産フェスタの様子

〈事業内訳〉	
牛久シャトービアフェス開催負担金【新規】	4,000千円
ワイン文化日本遺産協議会負担金(日本遺産フェスタ、ワインアカデミー、いばらきワインイベント分)	9,200千円
ワインの街うしく推進事業補助金	3,500千円
(財源)	
一般財源	16,700千円

うしくグルメの創出・発信 (4,444千円) (環境経済部)

拡充

牛久市の豊かな食文化と地域資源や技術を活かし、市民・事業者・行政が一体となり、「うしくグルメ」を新たに創出・発信することで、**地域のブランド力向上と観光・経済の活性化**を図ります。

「うしくグルメソン」は、市内外の住民や消費者が集まり、地元の飲食事業者とともにアイデアをマラソンのように出し合いながら新たな「うしくグルメ」を開発する取り組みです。

地域の食材や市内事業者が有する技術を活用したアイデア創出から商品化に向けた協議、試作品の製作等を一連の流れとして行い、消費者の声を反映した新商品を製作します。令和7年度は新たに3商品が生まれました。市では、開発されたグルメを市内店舗での販売やイベント出店などを通して継続的にPRを実施します。

また、茨城県が主催し第2回目の開催となる「シン・いばらきメシ総選挙2026」に出場する当市の代表グルメを選定し、選定されたメニューについては、SNSや市公式ホームページ、観光パンフレットなどを通じて広く発信するとともに、「シン・いばらきメシ」開催後も継続的にPRを進めることで、牛久ブランドの知名度向上を図ります。



写真：令和7年度のうしくグルメソンにて生まれた新商品

〈事業内訳〉	
シン・いばらきメシ総選挙関係経費【新規】	668千円
アイデアソン開催委託費	3,776千円
(財源)	
一般財源	4,444千円

Project 4 市民の足づくりプロジェクト

バス路線再編に伴う支援 (4,885千円) (経営企画部)

新規

市内路線バス利用者の負担軽減のため、運行事業者に対して運賃補償を行います。

市内バス路線再編に伴い、かっぱ号の一部路線が民間路線バスへ移管することによって新たに生じる、利用者の負担を軽減し、引き続きかっぱ号と同水準の利用者負担となるよう事業者に対する運賃補償を行います。



〈事業内訳〉	
市内完結路線バス運賃補償【新規】	4,885千円
(財源)	
一般財源	4,885千円

牛久市内における公共交通の運行 (170,003千円) (経営企画部)

継続

市民の日常の足の確保のため、各種公共交通を運行します。

市内における交通空白地の解消及び市民の移動手段を確保するため、様々な主体と協力し、公共交通を運行します。



〈事業内訳〉	
牛久市コミュニティバスかっぱ号	95,714千円
牛久市乗合タクシーうしタク	51,431千円
地域連携公共ライドシェア	20,220千円
ボランティア移送サービス	2,638千円
(財源)	
運賃収入	5,148千円
一般財源	164,855千円

Project 5 スマート窓口プロジェクト

書かない窓口支援システム導入 (83,292千円) (市民部)

新規

「書かない窓口支援システム」導入により、住民の利便性の向上や、サービスの質の向上及び待ち時間短縮を図ります。

「市役所窓口待ち時間ゼロ」の実現に向けて、R8年度から「書かない窓口支援システム」を導入します。システムの導入により、窓口利用者の申請書作成の負担を軽減し、申請書作成と、住民基本台帳システムへの自動入力処理を同時に行うことで、入力作業の効率化を図ります。また、受け付けた申請内容を全庁で共有することで、各窓口で記入していた申請書の手間を省略し、窓口利用者の市役所滞在時間の短縮を図ります。



〈事業内訳〉	
書かない窓口支援システム導入【新規】	76,593千円
書かない窓口支援システム使用料【新規】	6,699千円
(財源)	
地域未来交付金(国)	41,645千円
窓口支援システム導入事業債	34,400千円
一般財源	7,247千円

公立保育園に**登園システム**を導入するとともに、**電子版母子健康手帳アプリ**の導入により、子育て事業に係る利便性の向上を図ります。

公立保育園3園(つつじが丘保育園、栄町保育園、下根保育園)に**登園システム**を導入し、登・降園の管理などをアプリで行うことにより、保護者の利便性の向上を図るとともに、保育の安全性・質の向上を図ります。

また、新たに**電子版母子健康手帳アプリ**を導入することで、月齢等の必要な時期に、必要な内容の情報を提供するとともに、相談、教室のオンライン予約機能により、子育て世帯の利便性の向上を図ります。



〈事業内訳〉	
登園システム導入・運用経費【新規】	6,875千円
電子版母子健康手帳アプリ導入・運用経費【新規】	1,689千円
〈財源〉	
地域未来交付金(国)	2,638千円
母子保健衛生費補助金(国)	845千円
一般財源	5,081千円

Project 6 国際交流活発化プロジェクト

海外都市とのつながりを深め、経済的・文化的な交流を推進します。

令和8年度は、台湾・桃園市、ジョージア国・テラヴィ市との交流を深めるとともに、ホワイトホース市青少年団受入事業など、海外の姉妹都市・友好都市との継続的な交流により、身近な国際化を実現します。

また、グローバル化、多文化共生社会への対応に取り組み、地域在住外国人がより住みやすいまちづくりを推進します。



写真：ホワイトホース青少年団来訪時

〈事業内訳〉	
牛久市国際交流協会運営費補助金	3,149千円
台湾・ジョージア訪問経費	1,785千円
〈財源〉	
一般財源	4,934千円

北部地域（東大和田地区）宅地開発検討（27,896千円）（建設部）

継続

東端穴土地区画整理事業に続く、新たな宅地開発について、東大和田地区を対象として事業成立性等を調査します。

北部地域は、継続した住宅需要に支えられ、人口を増やしてきましたが、現在では供給できる宅地がほぼ無いことから、東端穴土地区画整理事業に続く、新たな宅地開発の検討をしています。

令和8年度は、前年度の調査内容を踏まえ、東大和田地区を対象に事業成立性等の調査を実施します。



〈事業内訳〉	
北部地域（東大和田地区）宅地開発検討業務委託	27,896千円
〈財源〉	
一般財源	27,896千円

空家利活用による転入促進のための補助金創設等（1,150千円）（建設部）

新規

市内における空家の適正管理・発生予防対策を実施します。

市内の空家の有効活用及び子育て世帯の移住・定住を促進するため、空家・空地バンクを活用し、市外から市内へ転入する子育て世帯に対し、改修費の一部を支援します。

また、空家の発生予防と抑制を図ることを目的として、市内で持ち家をお持ちの高齢者を中心に、空家に関する諸問題への理解を深めていただき、将来に備えるための知識を学ぶ講演会を開催します。



〈事業内訳〉	
牛久市空家バンク子育て世帯転入促進補助金【新規】	1,000千円
空家管理啓発セミナー【新規】	150千円
〈財源〉	
社会資本整備総合交付金（国）	500千円
一般財源	650千円

牛久市第4次総合計画基本構想

7つの政策分野

【健康・医療・福祉】

すべての人が生き生きとした人生を送るまち

未就学児医療費無償化 (24,871千円) (保健福祉部)

継続

未就学児の医療費無償化を実施します。

未就学児が健康保険を使用して医療機関を受診した際のマル福分の自己負担金を助成することにより、医療費の経済的負担を軽減し、安心して出産・子育て等を行うことができるよう支援します。



〈事業内訳〉	
自己負担無償化に係る医療扶助費等	24,871千円
(財源)	
一般財源	24,871千円

下根保育園の長寿命化改修 (125,468千円) (保健福祉部)

継続

下根保育園の長寿命化改修工事を実施しています。

平成11年度に建築された下根保育園について、牛久市下根保育園個別施設計画に基づき、令和7年度から8年度にかけて、長寿命化改修を実施しています。

令和7年度：175,274千円
 令和8年度：125,468千円
 総事業費：300,742千円



写真：下根保育園

〈事業内訳〉	
工事費	113,402千円
工事監理費	12,066千円
(財源)	
下根保育園改修事業債	112,800千円
公共施設等総合管理基金	2,627千円
一般財源	10,041千円

予防接種 (175,979千円) 65歳以上の高齢者への予防接種 (118,009千円) (保健福祉部) 拡充

予防接種法に基づく定期接種や、任意接種を実施しています。令和8年度からは、妊婦へのRSウイルス母子免疫ワクチンの予防接種助成を開始します。

令和8年4月1日から新生児期及び乳児のRSウイルス感染症を予防するためのRSウイルス母子免疫ワクチンが定期接種となることから、接種料金の助成を開始します。

また、65歳の方及び70歳から100歳までの5歳刻みの年齢の方を対象に、带状疱疹の発症と重症化を予防する带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を継続して行います。

予防接種事業を通じて、感染症の罹患と重症化を予防し、安心して健康な毎日を送れるように支援します。



〈事業内訳〉	
予防接種	175,979千円
うち、RSワクチン【新規】	11,250千円
65歳以上高齢者への予防接種	118,009千円
(財源)	
一般財源	293,988千円

妊婦健康診査助成回数の上限撤廃 (636千円) (保健福祉部) 拡充

妊婦健康診査に対する助成について、回数の上限なく助成します。

妊婦健康診査に対する助成については、適切な時期に必要な回数の健診を受け、心身ともに健康な妊娠時期を過ごし、安心して出産・育児に臨むことができることを目的に、14回の助成回数の上限を撤廃し、令和8年度から15回目以降の健診について助成を行います。



〈事業内訳〉	
妊婦健康診査経費	38,165千円
うち、妊婦健康診査15回目以降【拡充】	636千円
(財源)	
母子保健衛生費補助金(国)	73千円
一般財源	38,092千円

【教育・文化】

未来を拓き、地域を担う人が育つまち

小中学校給食費無償化 (288,824千円)
給食費物価高騰対策 (83,881千円) (教育委員会、保健福祉部)

拡充

小中学校の給食費無償化と、保幼小中給食費の食材価格高騰分に対する支援を実施し、保護者の負担軽減を図ります。

令和6年度から開始した中学校(義務教育学校後期課程を含む)の給食費無償化に加え、令和8年1月から小学校(義務教育学校前期課程を含む)の給食費無償化を実施しています。

また、保育園や幼稚園、小中学校給食の物価高騰による食材費の値上がりに対し、保護者の負担軽減を図りつつ、これまで通りの栄養バランスや量を保った給食を提供できるよう支援します。



写真：市内中学校給食の様子



〈事業内訳〉	
学校給食食材費(小学校無償化分)【新規】	179,246千円
学校給食食材費(中学校無償化分)	109,578千円
給食食材費(物価高騰対応分)公立保幼小中義務教育学校分	67,546千円
原油価格・物価高騰等総合緊急対策補助金(民間保育園)	13,090千円
原油価格・物価高騰等総合緊急対策補助金(民間幼稚園)	3,245千円
〈財源〉	
小学校給食費負担軽減交付金(県)	214,500千円
一般財源	158,205千円

英語指導助手の派遣 (71,280千円) (教育委員会)

継続

コミュニケーション能力育成のため、英語指導助手(ALT)の派遣を行います。

英語でのコミュニケーション能力の育成、異文化交流・国際教育の推進を目的に、各学校へ英語指導助手(ALT)を派遣しています。

令和7年度から、牛久市の英語教育目標である「グローバルな視野で活躍する人材育成」を達成するため、英語を母語とし、ALT経験年数2年以上のALTの派遣を行っています。



写真：ALTとの英語授業の様子

〈事業内訳〉	
英語指導助手派遣委託	71,280千円
〈財源〉	
一般財源	71,280千円

ICT支援員派遣 (32,821千円) (教育委員会)

継続

授業におけるICTの活用を推進し、児童生徒の情報活用能力育成を図ります。

児童生徒の情報活用能力を育成するため、タブレット端末等を活用した授業の支援を行っています。

令和8年度も引き続き、支援体制の充実を目指し、ICT支援員を全学校に週1回配置し、教員及び児童生徒がタブレット端末等を「文房具」のように、日常的かつ最大限に使いこなせるよう、各教科の指導におけるICTの効果的な活用を図ります。



写真：ICTを活用した授業の様子

〈事業内訳〉	
ICT支援員委託	32,821千円
〈財源〉	
一般財源	32,821千円

子どもたちの学校生活の充実のため、スクールアシスタント(支援員)を配置します。

地域の人的資源と教育力を活かしたスクールアシスタントを各学校に配置しています。

令和8年度は、発達指導の必要な児童生徒が増加している近年の傾向を鑑み、特別支援教育にかかるスクールアシスタントを拡充し、授業、自立活動の質の向上を図ります。

また、児童生徒の科学的思考力を養うための理科支援や外国籍の児童生徒の日本語教育についても引き続き取り組み、全ての子どもたちが学校生活を充実することができるよう支援します。



写真：スクールアシスタントを活用した授業の様子

〈事業内訳〉	
スクールアシスタント報酬等	85,866千円
(財源)	
理科教育設備整備費等補助金(国)	1,073千円
一般財源	84,793千円

【しごと】

魅力ある「しごと」とにぎわいが生まれるまち

プレミアム率20%のハートフルクーポン券事業を支援します。

消費者の利便性を図るとともに、消費需要を喚起し、市内商業の活性化を図ることを目的に、市商工会が発行するハートフルクーポン券事業に対し、助成を行います。

令和7年度補正予算にて、「牛久市生活応援商品券」を全市民に配布したことから、令和8年度の発行は冬期を予定し、希望する全世帯が購入できるよう、発行額を3億円から4億円に増額します。また、物価高騰対応策(第3弾)として、引き続きプレミアム率20%の取り組みを実施し、市民の負担軽減及び市内事業者への支援を行います。



写真：ハートフルクーポン券(見本)

〈事業内訳〉	
ハートフルクーポン券事業補助金	76,691千円
(財源)	
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(国)	76,691千円

【市民共創】

みんなの創意工夫で未来をつくるまち

コミュニティ活動への助成 (31,572千円) (市民部)

継続

たまり場活動補助金により、地域コミュニティ活動の活性化を図ります。

行政区集会所を無償で開放し、地域の人たちの「たまり場」として活用している行政区に対して、運営費に対する助成を行い、住民が主体となった活発な地域交流の促進を図ります。

令和7年度からは交付対象経費を明確化し、開館日数ではなく、事業（活動）の実施回数に基づき補助金を交付するなどの補助金要綱改正を行い、実施行政区が34行政区から40行政区と7行政区が新たに活動を開始するなど、地域コミュニティ活動の活性化を図っています。



〈事業内訳〉	
コミュニティ活動助成金	31,572千円
〈財源〉	
一般財源	31,572千円

【生活基盤】

多様な世代が安心快適に住み続けられるまち

市営住宅を将来につなぐための再編・活用の取り組み (21,258千円) (建設部)

拡充

安心できる住環境を将来につなぐため、**団地の特性に応じた市営住宅の管理・運営を計画的に取り組み、老朽化した住宅の集約化の検討を進めるとともに、空き室のストック活用**を実施します。

市営住宅長寿命化計画を踏まえてR7年度に策定される「市営住宅集約化基本構想」をもとに、将来の必要戸数や需要の変化に合わせ、生活の安定を図る「セーフティネット住宅」の役割を維持しながら、**団地の特性に応じた管理・運営に取り組みます。**

R8年度からは、これらの構想・計画に基づき、**集約化に向けた検討を進めるとともに市営住宅の空き室修繕**を実施します。あわせて、築年数の古い住棟の空き室を**ストック活用**として、**福祉的な事業への活用や市外から転入する親子世帯、学生に入居してもらうなどの利活用**を新たに開始し、地域コミュニティの活性化や転入・定住促進を図ります。



DIYによる利活用で、親子入居や福祉利用が可能な住宅へ

〈事業内訳〉	
集約化支援業務	2,607千円
空室修繕	17,622千円
目的外使用空室修繕	1,029千円
〈財源〉	
一般財源	21,258千円

【環境】

豊かな自然を守り育てる優しさのあるまち

公共施設のLED化 (210,645千円) (総務部・保健福祉部・建設部・教育委員会)

拡充

公共施設の照明をLED化することで、CO2の排出量削減や電気料金の削減を目指します。

これまで順次実施してきた各施設のLED化を継続し、令和8年度は、**道路照明灯や公園灯の一斉更新**や**ひたち野リフレ**等のLEDリースを行うとともに、市内小中学校のLED化に向けた設計を進めます。

LED化を進めることで、CO2の排出量削減による環境への負担軽減や、電気料金の削減につなげます。

〈事業内訳〉	
道路照明灯LED化業務委託【新規】	145,000千円
公園灯LED化業務委託【新規】	55,000千円
小学校(岡田小・中根小・向台小)LED化基本実施設計【新規】	7,179千円
中学校(三中)LED化基本実施設計【新規】	2,707千円
ひたち野リフレLEDリース【新規】	378千円
生涯学習センター(奥野・三日月・かっぱの里)LEDリース【新規】	315千円
のぞみ園LEDリース【新規】	66千円
〈財源〉	
道路照明灯整備事業債	115,600千円
公園灯整備事業債	43,800千円
公共施設等総合管理基金	9,886千円
一般財源	41,359千円



ハイブリッド公用車の購入 (21,455千円) (総務部)

拡充

公用車のハイブリット化を進めます。

市役所公用車の老朽化に伴う買い替えについては、これまで低価格帯であるガソリン車の購入が中心となってきましたが、第5期うしくエコオフィス行動計画に基づき、再生可能エネルギーに関する取り組みとして、ハイブリッド車へ買い替えを進めます。

令和8年度の公用車買い替えについては、7台のハイブリッド車の導入を予定しています。

〈事業内訳〉	
公用車購入(7台)	21,455千円
〈財源〉	
公用車購入事業債	19,300千円
一般財源	2,155千円



【行政運営】

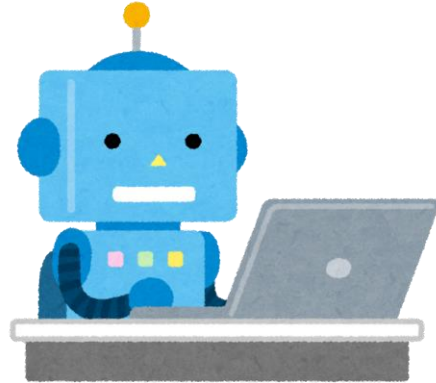
行政が市民に信頼されているまち

DXツールの活用による業務効率化の推進 (7,469千円) (経営企画部)

継続

各種DXツールを活用することで、事務効率化を図ります。

行政サービスの向上や業務の効率化等を目的として、業務におけるデジタル化を推進します。
令和8年度は、全庁的なBPRによる業務改善の実施により、kintoneやAI-OCR、RPAなど、DXツールの活用を促進し、業務の効率化を進めます。



〈事業内訳〉	
各種DXツール利用料	7,469千円
〈財源〉	
一般財源	7,469千円

BPRの推進 (7,810千円) (経営企画部)

拡充

BPRを通して業務の根本的な見直しを実施し、業務効率化を推進します。

令和7年度は部署を限定していたBPR (Business Process Re-engineering) 手法による業務改革を令和8年度からは全庁的に実施することで、現行の業務プロセスを根本的に見直し、業務の効率化を図るとともに、職員が自ら業務改善を実施することができるよう、デジタルスキルの向上や業務改革の意識向上を図ります。



〈事業内訳〉	
BPR支援業務委託	7,810千円
〈財源〉	
一般財源	7,810千円

令和8年度特別会計予算

国民健康保険事業特別会計

(単位：千円)

区分	款名	令和8年度 予算額 A	令和7年度 予算額 B	比較		主な内容
				金額 A-B=C	率 C/B %	
歳入	01 国民健康保険税	1,396,489	1,445,359	△ 48,870	△ 3.4	・一般被保険者分（現年度分） 1,334,003 ・退職被保険者分（現年度分） 3
	02 使用料及び手数料	900	1,029	△ 129	△ 12.5	・督促手数料 900
	03 国庫支出金	1	136	△ 135	△ 99.3	・災害臨時特例補助金 1
	04 県支出金	5,266,147	5,193,150	72,997	1.4	・保険給付費等交付金（普通交付金） 5,012,417 ・保険給付費等交付金（特別交付金） 253,730
	05 繰入金	384,573	363,744	20,829	5.7	・一般会計繰入金 384,573
	06 繰越金	1	1	0	0.0	・前年度繰越金 1
	07 諸収入	43,064	55,896	△ 12,832	△ 23.0	・延滞金・加算金 30,003 ・第三者納付金 10,030
	歳入合計	7,091,175	7,059,315	31,860	0.5	
歳出	01 総務費	102,941	99,124	3,817	3.9	・職員給与費、診療報酬明細書点検事務、被保険者証交付事務、国民健康保険税賦課徴収事務等
	02 保険給付費	5,033,544	4,958,900	74,644	1.5	・一般被保険者給付費 4,990,281 ・退職被保険者給付費 401 ・出産育児一時金 15,000 ・葬祭費 5,500
	03 国民健康保険事業費納付金	1,814,260	1,870,930	△ 56,670	△ 3.0	・医療給付費分 1,052,473 ・後期高齢者支援金等分 530,248 ・介護納付金分 173,365 ・子ども・子育て支援金分 58,174
	04 保健事業費	72,798	77,806	△ 5,008	△ 6.4	・特定健診、特定保健指導費 69,758 ・保健衛生普及費 3,040
	05 基金積立金	57,397	42,320	15,077	35.6	・国民健康保険支払準備基金積立金 57,397
	06 諸支出金	9,235	9,235	0	0.0	・還付金、還付加算金 9,230
	07 予備費	1,000	1,000	0	0.0	
	歳出合計	7,091,175	7,059,315	31,860	0.5	

青果市場事業特別会計

(単位：千円)

区分	款名	令和8年度 予算額 A	令和7年度 予算額 B	比較		主な内容
				金額 A-B=C	率 C/B %	
歳入	01 使用料及び手数料	7,000	7,000	0	0.0	・青果市場販売手数料 7,000
	02 繰入金	15,303	14,363	940	6.5	・一般会計繰入金 15,192
	03 繰越金	1	1	0	0.0	・前年度繰越金 1
	04 諸収入	1	1	0	0.0	・歳計現金預金利子 1
	歳入合計	22,305	21,365	940	4.4	
歳出	01 総務費	21,871	20,931	940	4.5	・青果市場事業運営経費 21,871
	02 予備費	434	434	0	0.0	
	歳出合計	22,305	21,365	940	4.4	

令和8年度特別会計予算

介護保険事業特別会計

(単位：千円)

区分	款名	令和8年度 予算額 A	令和7年度 予算額 B	比較		主な内容
				金額 A-B=C	率 C/B %	
入	01 保険料	1,085,988	1,824,246	△ 738,258	△ 40.5	・介護保険料（現年度分） 1,082,311
	02 使用料及び 手数料	131	131	0	0.0	・督促手数料 131
	03 国庫支出金	1,337,311	1,292,043	45,268	3.5	・介護給付費負担金 1,215,832 ・地域支援事業交付金 104,343
	04 支払基金交付金	1,837,414	1,775,406	62,008	3.5	・介護給付費交付金 1,792,641 ・地域支援事業支援交付金 44,773
	05 県支出金	998,297	967,997	30,300	3.1	・介護給付費負担金 941,979 ・地域支援事業交付金 56,318
	06 財産収入	7,400	1,900	5,500	289.5	・介護給付費準備基金預金利子 7,400
	07 繰入金	1,947,278	1,101,007	846,271	76.9	・一般会計繰入金 1,135,995 ・介護給付費準備基金繰入金 811,283
	08 繰越金	1	1	0	0.0	・前年度繰越金 1
	09 諸収入	5,553	5,622	△ 69	△ 1.2	・雑入 5,281 ・延滞金 272
	歳入合計	7,219,373	6,968,353	251,020	3.6	
出	01 総務費	203,171	190,511	12,660	6.6	・一般管理費 153,844 ・介護認定審査会費 42,374
	02 保険給付費	6,639,411	6,358,604	280,807	4.4	・介護サービス等諸費 6,140,552 ・介護予防サービス等諸費 162,670 ・高額介護サービス等費 216,981 ・特定入所者介護サービス等費 113,220
	03 地域支援事業費	350,986	399,382	△ 48,396	△ 12.1	・介護予防・生活支援サービス事業 143,243 ・一般介護予防事業 21,919 ・包括的支援事業・任意事業費 184,903 ・高額総合事業サービス費 481
	04 保健福祉事業費	12,404	11,754	650	5.5	・保健福祉事業費 12,404
	05 基金積立金	7,400	1,901	5,499	289.3	・介護給付費準備基金積立金 7,400
	06 諸支出金	3,001	3,201	△ 200	△ 6.2	・第1号被保険者保険料還付金 3,001
	07 予備費	3,000	3,000	0	0.0	
	歳出合計	7,219,373	6,968,353	251,020	3.6	

令和8年度特別会計予算

後期高齢者医療事業特別会計

(単位：千円)

区分	款名	令和8年度 予算額 A	令和7年度 予算額 A	比較		主な内容
				金額 A-B=C	率 C/B %	
歳入	01 後期高齢者医療 保険料	1,777,639	1,457,738	319,901	21.9	・特別徴収保険料（現年度分） 1,247,411 ・普通徴収保険料（現年度分） 528,350
	02 使用料及び 手数料	192	192	0	0.0	・督促手数料 192
	03 繰入金	1,392,948	1,313,868	79,080	6.0	・一般会計繰入金 1,392,948
	04 繰越金	1	1	0	0.0	・前年度繰越金 1
	05 諸収入	4,589	6,076	△ 1,487	△ 24.5	・還付金 4,100
	歳入合計	3,175,369	2,777,875	397,494	14.3	
歳出	01 総務費	55,949	42,495	13,454	31.7	・一般管理費 51,207 ・保険料徴収費 4,742
	02 保険給付費	1,046,113	996,163	49,950	5.0	・保険給付負担金 1,004,098 ・保険給付共通経費負担金 41,936
	03 保健事業費	42,079	38,629	3,450	8.9	・健康診査業務 42,079
	04 納付金	2,025,128	1,694,188	330,940	19.5	・保険料納付金 1,777,639 ・保険基盤安定納付金 247,000
	05 諸支出金	4,100	4,400	△ 300	△ 6.8	・還付金等 4,100
	06 予備費	2,000	2,000	0	0.0	
歳出合計	3,175,369	2,777,875	397,494	14.3		

令和8年度企業会計予算

下水道事業会計

(単位：千円)

区分	款名称	項名称	令和8年度 予算額 A	令和7年度 予算額 B	比較		主な内容	
					金額 A-B=C	率 C/B %		
収益の 収入及び 支出	下水道事業収益		1,815,925	1,810,239	5,686	0.3		
		営業収益	1,174,137	1,183,562	△ 9,425	△ 0.8	・下水道使用料 1,129,112 ・雨水処理負担金 45,010 ・その他営業収益 15	
		営業外収益	641,788	626,677	15,111	2.4	・受取利息及び配当金 320 ・(一般会計)負担金 100,732 ・長期前受金戻入 540,132 ・雑収益 604	
	下水道事業費用		1,653,202	1,689,856	△ 36,654	△ 2.2		
		営業費用	1,547,105	1,583,352	△ 36,247	△ 2.3	・污水管渠費 16,048 ・污水ポンプ場費 81,507 ・雨水ポンプ場費 3,109 ・流域下水道維持管理費負担金 424,587 ・普及促進費 251 ・業務費 80,518 ・総係費 83,516 ・減価償却費 857,569	
		営業外費用	104,936	104,826	110	0.1	・支払利息及び企業債取扱諸費 64,936 ・消費税及び地方消費税 40,000	
		特別損失	1	1	0	0.0	・過年度損益修正損 1	
		予備費	1,160	1,677	△ 517	△ 30.8		
	資本の 収入及び 支出	資本の収入		928,861	722,345	206,516	28.6	
			企業債	511,900	277,900	234,000	84.2	・企業債 511,900
		出資金	17,734	29,872	△ 12,138	△ 40.6	・(一般会計)出資金 17,734	
		補助金	151,600	199,800	△ 48,200	△ 24.1	・国庫補助金 151,600	
		負担金	247,627	214,773	32,854	15.3	・(一般会計)負担金 246,676 ・受益者負担金 951	
資本の支出		1,243,000	1,068,000	175,000	16.4			
		建設改良費	792,156	594,916	197,240	33.2	・污水管渠費 363,946 ・雨水管渠費 26,023 ・污水ポンプ場費 114,380 ・流域下水道建設事業負担金 287,807	
		企業債償還金	449,125	471,571	△ 22,446	△ 4.8		
		基金積立金	320	150	170	113.3		
		予備費	1,399	1,363	36	2.6		